サービスラーニング（自治体との連携：吹田市）
“吹田市の課題を解決する”

#課題解決型授業
#地域貢献と学びの統合
#吹田市との連携

最終発表会後に、吹田市職員らと記念撮影

＼DATA／

- **主な連携先・メンバー**
  吹田市シティプロモーション推進室・男女共同参画センター
- **活動地域**
  大阪府吹田市
- **活動期間**
  2023 年度～継続中
- **活動資金**
  自己負担

目　的

地域貢献活動と学習活動を統合した実践志向的な学びを通じて、実際に吹田市が抱えている課題に対して異なる専門性を持つ学生らが協働的な視点で問題解決を試みること。

連携にいたる経緯

講義科目「吹田市と関西大学」の発展的な PBL 授業で 3 年次以上が受講できる。吹田市との連携プロジェクト（2018・2019 年度）、プロジェクト学習 2（2020～2022 年度）、サービスラーニング（2023 年度～）として開講しており、開講当初より吹田市の協力の下進めている。

活動内容

本授業では、吹田市と連携の下、学部横断型のプロジェクト学習を行った。行政との連携という科目の性質上、公務員志望の学生も少なくないが、どの職種においても求められる社会人基礎力を身につけることが可能となっている。自分たちの提案が実際の現場に届けられ、場合によっては施策に反映されるといった責任感・緊張感を味わいながら、チームメンバーと議論し、アイデアを練り上げていく。中間発表や最終発表会では、現場の職員に対してプレゼンテーションを行い、直接フィードバックをもらうことができる。

2023 年度は、「男女共同参画センター」および「シティプロモーション推進室」の 2 部署と連携し、それぞれ「男女共同参画センター『デュオ』の認知度をあげる方法」、「市公式 SNS で実施するハッシュタグキャンペーンの考案」というテーマのもと、7 つの学部から 29 名の学生が受講。6 つのチームに分かれて活動を行い、第 14 回目には吹田市文化会館（メイシアター）にて最終成果発表会を実施した。

最終発表会の様子
（第 1 会場）

吹田市とオンラインを繋いで
実施した中間発表

最終発表会の様子
（第 2 会場）

活動の成果

- 成果発表会に参加した職員から、総合評価 10 点中「7.42」～「9.00」と高い評価を得た。
- 優れた提案を行ったチームが吹田市・関西大学連携推進協議会の場で報告する機会を得た。
- 学生からの提案内容の一部が事業化され、『市報すいた 1 月号』で取り上げられた。

今後の課題・目標・展開の可能性

- 提案するところで授業が終わるため、事業化・実装するところまで進めたい。
- 教育・人材育成分野とはぜひ連携していきたい。
- こうした授業が全学に少なすぎるため、もっと増やしていく必要がある。

＼連携先からの一言／

「非常にクオリティの高い発表ばかりで驚きました。」「とてもやる気とエナジーに溢れた授業でした。」「良い試みであり、有意義な授業でした。」「今後も継続していただければと思います。」など

（吹田市職員）

教育推進部 教授　山田　剛史 Yamada Tsuyoshi

大阪市生まれ。神戸大学大学院博士後期課程修了後、島根大学講師・准教授、愛媛大学准教授、京都大学准教授を経て、2020 年 10 月より現職。専門は高等教育開発・青年心理学。学校（子ども）から社会（大人）へと円滑に移行し、個人と社会のウェルビーイングを高めるための学校教育が研究テーマ。詳細は yamatuyo.com にて。